

令和6年度

# 学生募集案内

海技士コース（三級）  
海技士コース（四級）  
海技士コース（五級）

## ～出願にあたっての注意事項～

海技免許講習（レーダー観測者、レーダー・自動衝突予防援助装置シミュレータ、救命、消火、航海英語及び機関英語講習）は実施いたしません。必要に応じて、他の講習機関において各自で別途受講してくださいようお願いいたします。



独立行政法人海技教育機構



海技大学校

## 目次

I. 募集.....	1
1. 海技士コース（三級）／航海・機関.....	1
2. 海技士コース（四級）／航海・機関.....	3
3. 海技士コース（五級）／航海・機関.....	5
II. 出願方法.....	7
1. 出願時の提出書類等.....	7
2. 願書提出先及び問い合わせ先.....	7
III. 給付金・助成金.....	8
IV. 授業料等の諸経費.....	10
V. 学校施設.....	10
VI. 学校見学のご案内.....	10
VII. 入学願書 記入例（表面）.....	11
1. 受講時に在職している場合.....	11
2. 受講時に離職している場合.....	12
VIII. 入学願書 記入例（裏面）.....	13

### 添付書類

入学願書（三級～五級用）

予備身体検査証明書

### 裏表紙

海技大学校へのアクセス

# 募集

## 1. 海技士コース（三級）／航海・機関 ※受講には四級海技士の免許が必ず必要です。

出願期間 令和6年9月2日(月)～令和6年10月10日(木)

※10月10日(木)書類必着

修業期間 令和6年11月6日(水)～令和7年3月14日(金)



海技士コース  
(三級) HP

### 特典及び特長

- I. 本課程卒業者は海技士国家試験のうち、以下の筆記試験が免除されます。  
三級航海：三級海技士(航海) 三級機関：三級海技士(機関)
- II. 卒業後国家試験受験時に、在学期間の1/2が乗船履歴として加算されます。
- III. 受講期間中に海技免許講習（上級航海英語・上級機関英語）を修了することが出来ます。
- IV. 三級航海は、修業期間内に BRM 訓練を受講します。

### (1) 入学資格及び出願

#### ①入学資格

・海技士国家試験に係る身体検査基準を満たしている方で、四級海技士（航海）若しくは四級海技士（機関（内燃機関含む））の免許を有し、卒業時において三級海技士（航海）若しくは三級海技士（機関）に関する海技士国家試験の受験資格のある方。

#### ②出願

・入学検定料33,550円と、本案内に添付されている「入学願書」、「予備身体検査証明書」、乗船履歴を確認する書類などが必要です。7ページに記載している出願に必要な書類をお送りください。

三級海技士（航海）または三級海技士（機関）に関する国家試験の受験に必要な乗船履歴については下表を参照してください。

試験の種類別	船 舶		期 間	資 格	職 務
三級海技士 (航海)	・1600トン以上	沿海区域	3年以上 ・特典及び特長Ⅱ、適用		船舶の運航
	・20トン以上	近海・遠洋区域			
	・20トン以上	乙・甲区域の漁船			
	・500トン以上	沿海区域	2年以上 ・特典及び特長Ⅱ、適用	四級海技士(航海)	航海士 (一等航海士を除く)
	・20トン以上	近海・遠洋区域			
	・20トン以上	乙・甲区域の漁船			
	・200トン以上	沿海区域	1年以上	四級海技士(航海)	船長又は一等航海士
	・20トン以上	近海・遠洋区域			
・200トン以上	丙区域の漁船				
・20トン以上	乙・甲区域の漁船				
	近代化船		6月以上 ・特典及び特長Ⅱ、適用	船橋当直三級海技士 (航海)	運航士
三級海技士 (機関)	・3000kW以上	沿海区域	3年以上 ・特典及び特長Ⅱ、適用		機関の運転
	・20トン以上	近海・遠洋区域			
	・20トン以上	乙・甲区域の漁船			
	・1500kW以上	沿海区域	2年以上 ・特典及び特長Ⅱ、適用	四級海技士(機関)	機関士 (一等機関士を除く)
	・20トン以上	近海・遠洋区域			
	・20トン以上	乙・甲区域の漁船			
	・750kW以上	沿海区域	1年以上	四級海技士(機関)	機関長又は一等機関士
	・20トン以上	近海・遠洋区域			
・750kW以上	丙区域の漁船				
・20トン以上	乙・甲区域の漁船				
	近代化船		6月以上 ・特典及び特長Ⅱ、適用	機関当直三級海技士 (機関)	運航士

- (注) ・国家試験の受験に必要な乗船履歴とは国家試験開始日の前15年以内のものです。  
ただし、台船・クレーン船等の自力航行できない船舶での乗船履歴は除きます。  
乗船期間その他は、船員手帳等でよく確認してください。
- ・船舶職員及び小型船舶操縦者法施行規則第27条の3にて、当該コースの在学期間の1/2が同規則第24条第3項に規定する試験開始期日の前5年以内のものとして認められます。

(2) 入学試験

試験日 令和6年11月5日(火)

○身体検査 指定医師により証明された、「予備身体検査証明書」の内容を、証明書裏面記載の基準に従って審査します。必ず指定医師で受診してください。

○筆記試験 専門学…船舶の運航（又は機関の運転）実務に関する試験

航海：航海、航海計器、運用、気象、航海法規

機関：内燃機関、ボイラ、プロペラ装置、補機、電気工学

○筆記試験の免除 下記に該当する場合は、願い出により筆記試験が免除されます。

（ 高等学校を卒業した方、本校通信教育科普通科A課程を卒業した方、海員学校の本科を昭和63年以降に卒業した方若しくはこれと同等以上の学力があると認められた方 ）

(3) 出願から卒業までのスケジュール

令和6年度入学	三級
出願期間	令和6年9月2日(月)～令和6年10月10日(木)
入学試験日	令和6年11月5日(火)
合格発表	令和6年11月5日(火)
入寮可能日	令和6年11月5日(火)※入学試験の合格発表後 (年末年始は学生寮を閉鎖します。)
入学式(入学日)	令和6年11月6日(水)
修業期間	令和6年11月6日(水)～令和7年3月14日(金) 約4か月
卒業式(卒業日)	令和7年3月14日(金)

(4) 授業料等の諸経費

金額は、10ページに概算で記載しております。

入学後に請求書を発行いたしますので、期限までに入金をお願いいたします。

## 2. 海技士コース（四級）／航海・機関

出願期間 令和6年1月15日(月)～令和6年2月29日(木)

※2月29日(木)書類必着

修業期間 令和6年4月4日(木)～令和6年6月21日(金)



海技士コース  
(四級) HP

### 特典及び特長

I. 本課程卒業者は海技士国家試験のうち、以下の筆記試験が免除されます。

四級航海：四級海技士(航海) 四級機関：内燃機関四級海技士(機関)

II. 卒業後国家試験受験時に、在学期間の1/2が乗船履歴として加算されます。

### (1) 入学資格及び出願

#### ①入学資格

- 海技士国家試験に係る身体検査基準を満たしている方で、卒業時において四級海技士(航海)若しくは内燃機関四級海技士(機関)に関する海技士国家試験の受験資格のある方。

#### ②出願

- 入学検定料33,550円と、本案内に添付されている「入学願書」、「予備身体検査証明書」、乗船履歴を確認する書類などが必要です。7ページに記載している出願に必要な書類をお送りください。

四級海技士(航海)または内燃機関四級海技士(機関)に関する国家試験の受験に必要な乗船履歴については下表を参照してください。

試験の種別	船 舶		期 間	資 格	職 務
四級海技士 (航海)	・200トン以上	平水区域	3年以上 ・特典及び特長Ⅱ、適用		船舶の運航(甲板員等)
	・20トン以上	沿海区域以上			
	・20トン以上	漁船	1年以上 ・特典及び特長Ⅱ、適用	五級海技士(航海)	船長または航海士
四級海技士 (機関)	・750kW以上	平水区域	3年以上 ・特典及び特長Ⅱ、適用		機関の運転(機関員等)
	・20トン以上	沿海区域以上			
	・20トン以上	漁船	1年以上 ・特典及び特長Ⅱ、適用	五級海技士(機関)	機関長または機関士

- (注) ・国家試験の受験に必要な乗船履歴とは国家試験開始日の前15年以内のものです。  
ただし、台船・クレーン船等の自力航行できない船舶での乗船履歴は除きます。  
乗船期間その他は、船員手帳等でよく確認してください。  
・船舶職員及び小型船舶操縦者法施行規則第27条の3にて、当該コースの在学期間の1/2が同規則第24条第3項に規定する試験開始期日の前5年以内のものとして認められます。

### (2) 入学試験

試験日 令和6年4月3日(水)

○身体検査 指定医師により証明された、「予備身体検査証明書」の内容を、証明書裏面記載の基準に従って審査します。必ず指定医師で受診してください。

○筆記試験 専門学…五級海技士相当の試験

航海：航海、運用、法規

機関：機関(一)、機関(二)、機関(三)、執務一般

○筆記試験の免除 五級海技士免許受有者は、筆記試験が免除されます。

(3) 出願から卒業までのスケジュール

令和6年度入学	四級
出願期間	令和6年1月15日(月)～令和6年2月29日(木)
入学試験日	令和6年4月3日(水)
合格発表	令和6年4月3日(水)
入寮可能日	令和6年4月3日(水)※入学試験の合格発表後 (GW中は学生寮を閉鎖します。)
入学式(入学日)	令和6年4月4日(木)
修業期間	令和6年4月4日(木)～令和6年6月21日(金) 約2.5か月
卒業式(卒業日)	令和6年6月21日(金)

(4) 授業料等の諸経費

金額は、10ページに概算で記載しております。

入学後に請求書を発行いたしますので、期限までに入金をお願いいたします。

### 3. 海技士コース（五級）／航海・機関

出願期間 令和6年1月15日(月)～令和6年2月29日(木)

※2月29日(木)書類必着

修業期間 令和6年4月4日(木)～令和6年6月21日(金)



海技士コース  
(五級) HP

#### 特典及び特長

- I. 本課程卒業者は海技士国家試験のうち、以下の筆記試験が免除されます。  
五級航海：五級海技士(航海) 五級機関：内燃機関五級海技士(機関)
- II. 卒業後国家試験受験時に、在学期間の1/2が乗船履歴として加算されます。

#### (1) 入学資格及び出願

##### ①入学資格

- ・海技士国家試験に係る身体検査基準を満たしている方で、卒業時において五級海技士(航海)若しくは内燃機関五級海技士(機関)に関する海技士国家試験の受験資格のある方。

##### ②出願

- ・入学検定料33,550円と、本案内に添付されている「入学願書」、「予備身体検査証明書」、乗船履歴を確認する書類などが必要です。7ページに記載している出願に必要な書類をお送りください。

五級海技士(航海)または内燃機関五級海技士(機関)に関する国家試験の受験に必要な乗船履歴については下表を参照してください。

試験の種別	船舶	期間	資格	職務
五級海技士 (航海)	10トン以上	3年以上 ・特典及び特長Ⅱ、適用		船舶の運航(甲板員等)
	20トン以上	1年以上 ・特典及び特長Ⅱ、適用	六級海技士(航海)	船長または航海士
五級海技士 (機関)	10トン以上	3年以上 ・特典及び特長Ⅱ、適用		機関の運転(機関員等)
	20トン以上	1年以上 ・特典及び特長Ⅱ、適用	六級海技士(機関)	機関長または機関士

- (注) ・国家試験の受験に必要な乗船履歴とは国家試験開始日の前15年以内のものです。  
ただし、台船・クレーン船等の自力航行できない船舶での乗船履歴は除きます。  
乗船期間その他は、船員手帳等でよく確認してください。  
・船舶職員及び小型船舶操縦者法施行規則第27条の3にて、当該コースの在学期間の1/2が同規則第24条第3項に規定する試験開始期日の前5年以内のものとして認められます。

#### (2) 入学試験

試験日 令和6年4月3日(水)

- 身体検査 指定医師により証明された、「予備身体検査証明書」の内容を、証明書裏面記載の基準に従って審査します。必ず指定医師で受診してください。
- 筆記試験 船員の仕事に関する基本的な知識の確認
- 筆記試験の免除 高等学校を卒業した方又はこれと同等以上の学力があると認められる方は、願い出により筆記試験を免除することができます。

(3) 出願から卒業までのスケジュール

令和6年度入学	五級
出願期間	令和6年1月15日(月)～令和6年2月29日(木)
入学試験日	令和6年4月3日(水)
合格発表	令和6年4月3日(水)
入寮可能日	令和6年4月3日(水)※入学試験の合格発表後 (GW中は学生寮を閉鎖します。)
入学式(入学日)	令和6年4月4日(木)
修業期間	令和6年4月4日(木)～令和6年6月21日(金) 約2.5か月
卒業式(卒業日)	令和6年6月21日(金)

(4) 授業料等の諸経費

金額は、10ページに概算で記載しております。

入学後に請求書を発行いたしますので、期限までに入金をお願いいたします。



## II. 出願方法

### 1. 出願時の提出書類等

出願書類の不備なもの、入学検定料を添えられてないものは受け付けできません。

乗船履歴が受験資格を満たしているか不明な場合は、あらかじめ海技大学校教務課へお問い合わせください。

提出書類等		記載要領等	三級	四級	五級	チェック欄
①	入学願書※	・本案内に添付されている所定の用紙を使用し、記入例を参照してください。	○	○	○	
②	予備身体検査証明書※	・本案内に添付されている所定の用紙を使用し、縦 3.0cm×横 2.4cm の写真を貼付した上で、指定医師により証明を受けてください。	○	○	○	
③	写真	・裏面に志望コース、氏名を明記してください。 ・申請前 1 年以内に撮影されたもので無帽、正面、上半身、無背景、縦 3.0cm×横 2.4cm の写真が必要です。 ・入学試験の筆記試験受験者は 2 枚、筆記試験免除者は 1 枚をお送りください。	○	○	○	
④	受有している免状のコピー	・海技士コース（三級）受講希望者は、四級海技士免状のコピーを必ずご提出ください。 ・海技士コース（四級）受講希望者で、五級海技士免許受有者は入学試験の筆記試験免除になりますので、五級海技士免状のコピーを必ずご提出ください。	○	○ 受有者のみ	○ 受有者のみ	
⑤	乗船履歴の確認書類	・受験に必要な乗船履歴が確認できる船員手帳のコピー ・船員手帳の氏名、本籍、生年月日の記載のページのコピー（雇入契約関係及び休日・有給休暇関係のページ） ・一括公認等による乗船履歴証明書等の場合は、必ず正本を用意しておいてください。	○	○	○	
⑥	卒業証書のコピー又は卒業証明書の原本	・海技士コース（三級又は五級）受講希望者で、入学試験の筆記試験免除を願ひ出される方は、各課程の募集ページに記載の卒業証書のコピー又は卒業証明書の原本をご提出ください。（四級は対象外）	○	×	○	
⑦	入学検定料 33,550円	・現金書留で出願書類一式を同封し納入してください。 ・既納の検定料は、返還できません。	○	○	○	
⑧	願出書※	・出願期間に提出ができない出願書類等がある場合、提出書類送付時に同封してください。 （提出書類は入学試験までに提出してください。）	締切に間に合わない提出書類等がある場合は必要			

※①②⑧の用紙はホームページより印刷可能です。

### 2. 願書提出先及び問い合わせ先

〒659-0026 兵庫県芦屋市西蔵町 12 番 24 号  
海技大学校 学務部 教務課 海技士コースあて  
TEL (0797) - 38-6211  
e-mail [contact-kyoumu-kaidai@jmets.ac.jp](mailto:contact-kyoumu-kaidai@jmets.ac.jp)  
対応時間：平日 9:00～17:00



HP からの  
お問い合わせは  
こちらから

### Ⅲ. 給付金・助成金

受給は、**本人が入学料・授業料を負担し、卒業した場合のみ**となります。

①一般教育訓練の教育訓練給付制度厚生労働大臣指定講座（厚生労働省）

**問合せ先：最寄りのハローワーク**

願書提出前に各自で受給資格を満たしているか確認し、卒業後に各自で申請してください。

受給資格	次の（１）又は（２）のいずれかに該当する方 （１）雇用保険の被保険者である方のうち。支給要件期間が３年以上ある方。 （２）雇用保険の被保険者であった方で、被保険者資格を喪失した日以降１年以内であり、かつ支給要件期間が３年以上ある方。 ※（１）又は（２）とも当分の間、初めて教育訓練給付金の支給を受けようとする方については、支給要件期間が１年以上あれば可。
給付額	教育訓練経費の２０％に相当する額。限度額１０万円。
請求手続 （本人）	本人の住所を管轄するハローワークへ申請 ①教育訓練給付金支給申請書 ②教育訓練修了証明書 ③各費用の領収書（入学料・授業料・教科書代等…（最大１年分）） ④雇用保険被保険者証等 （受講修了１月以内に支給申請）

②海技資格取得研修補助(全日本海員組合)

**問合せ先：（一財）全日本海員福祉センターTel03-3475-5390**

**願書提出前に、各自で申請していただく必要があります。**

受給資格	全日本海員組合の組合員
給付額	入学検定料・受講料（入学料・教材費を含む。）の全額相当額。ただし、同一の海技士資格について２回目以上の受講である場合は、受講料の半額相当額の給付となります。
請求手続 （本人）	① 海技大学校へ受講申し込みを行ってください。 ② （一財）全日本海員福祉センターへ受講前に事前申し込みとして「海技資格・技能講習受講申請書」を提出します。（申請書用紙は（一財）全日本海員福祉センターまたは全日本海員組合各支部にあります。） ③ （一財）全日本海員福祉センターにて審査後、「海技資格取得研修受講決定通知」と「研修補助・交通費補助申請書」が送付されます。受講者は受講決定通知受領後、海技大学校で受講してください。 ④ 受講後、「研修補助・交通費補助申請書」を（一財）全日本海員福祉センターへ提出。提出の際、海技大学校が発行する「授業料等振込証明書と入学検定料領収証書」（宛名は受講者名）を添付してください。

（令和５年１２月現在）

③教育訓練給付補完給付(全日本海員組合)

問合せ先：(一財)全日本海員福祉センターTel03-3475-5390

**願書提出前に、各自で申請していただく必要があります。**

受給資格	2つの要件を満たしていること。 (1) 全日本海員組合員の組合員（申請時において前回の受給から3年以上が経過していること） (2) 教育訓練給付金を受給済の方。
給付額	入学検定料・受講料（入学料・教材費を含む。）の3割相当額（限度額 15万円）。
請求手続 (本人)	教育訓練給付金を受領後、所定の補助申請書に教育訓練給付金の支給証明書等を添付して(一財)全日本海員福祉センターへ申請。提出の際、海技大学校が発行する「授業料等振込証明書と入学検定料領収証書」（宛名は受講者名）を添付してください。（補助申請書は(一財)全日本海員福祉センターまたは全日本海員組合各支部にあります。）

(令和5年12月現在)

※①教育訓練給付金（厚生労働省）と、②海技資格取得研修補助（全日本海員組合）とは重複して受給することはできません。

※②海技資格取得研修補助（全日本海員組合）と③教育訓練給付補完給付（全日本海員組合）とは、重複して受給することはできません。

〔参考〕給付金・助成金の例（概算）

コース	海技士コース（三級）		海技士コース（四級）		海技士コース（五級）	
	航海	機関	航海	機関	航海	機関
①教育訓練給付金	56,000	52,000	38,000	39,000	34,000	33,000
②海技資格取得研修補助	316,000 +往復交通費	295,000 +往復交通費	227,000 +往復交通費	229,000 +往復交通費	200,000 +往復交通費	198,000 +往復交通費
③教育訓練給付補完給付	94,000 +往復交通費	88,000 +往復交通費	68,000 +往復交通費	68,000 +往復交通費	60,000 +往復交通費	59,000 +往復交通費

注意) 上記助成金額は、参考金額です。制度変更があった場合等、助成金額が変更されることがあります。

※「①教育訓練給付金」につきましては、2割相当の金額で計算しています。

※「入学検定料の領収書」について、再発行ができませんので各自で保管のほどお願いいたします。

②・③の入学検定料領収証書として使用します。

※各制度の詳細な内容につきましては、①は最寄りのハローワーク、②・③は(一財)全日本海員福祉センター（Tel03-3475-5390）にお問い合わせください。

<地方運輸局等から受講指示を受けられる方へ>

入学時に船員失業保険受給中で地方運輸局等から「受講指示書」を受けた方は、失業保険金の他に移転費、技能習得手当等が支給されます。

**受講指示を受けようとする失業保険受給中又は受給見込の方は、運輸局等（海のハローワーク）へ願書提出前に必ずご相談ください。**

## IV. 授業料等の諸経費

海技士コース受講に必要な諸経費は、概算で下記のとおりです。（単位：円）

※願書出願時には、別途「入学検定料」が必要です。

コース	海技士コース（三級）		海技士コース（四級）		海技士コース（五級）	
	航海	機関	航海	機関	航海	機関
入学料	101,930	101,930	101,930	101,930	81,500	81,500
授業料	124,000	124,000	62,030	62,030	51,760	51,760
教科書代	56,900	36,000	30,000	32,000	38,000	32,000
学生費	4,740	4,740	4,140	4,140	4,140	4,140
合計	287,570	266,670	198,100	200,100	175,400	169,400

入寮時は次の費用も概算が必要です。（単位：円）

コース	海技士コース（三級）		海技士コース（四級）		海技士コース（五級）	
	航海	機関	航海	機関	航海	機関
寄宿料	20,000	20,000	12,000	12,000	12,000	12,000
寮生費	88,396	88,396	54,076	54,076	54,076	54,076
合計	108,396	108,396	66,076	66,076	66,076	66,076

※別途食費がかかります。

※上記諸経費は改定される場合があります。

※諸経費等については、入学後に請求書を発行いたします。納期は、概ね3～4週間程度です。

※学生寮の寮部屋や設備はホームページよりご覧頂けます。



学生寮の設備  
はこちらから

## V. 学校施設

学校のある芦屋は、神戸と大阪の中間に位置します。

北に六甲山、南に大阪湾を望む閑静な地で、勉学には最適な場所です。

校内には各種教育訓練設備があり、長期のコースではシミュレータ訓練・練習船海技丸での乗船訓練等の授業・実習により理解力がアップし、国家試験対策プラスαで海技を習得することができます。

## VI. 学校見学のご案内

教室・図書室・実習施設等、当日可能な限りご見学いただけます。

見学日時や内容等をあらかじめ（見学希望日の2週間以上前に）ご連絡ください。

見学可能日：平日 9:00～17:00    見学時間：1時間半前後

# VII. 入学願書 記入例（表面）

## 1. 受講時に在職している場合

三級・五級入学試験で高等学校卒業者は、筆記試験の免除を願い出ることができます。卒業証明書又は卒業証書のコピーを添付してください。

確認印			記入しない
希望するコースを○で囲む	海技大学校 入学願書 (三級～五級用)		受験番号
	三級又は五級 入学試験筆記試験免除の願い出を		受検番号
	<input checked="" type="radio"/> する <input type="radio"/> しない		
住民票どおり記入ふりがなを忘れずに記入	志望コース	① 海技士コース (三級航海)      4. 海技士コース (三級機関) 2. 海技士コース (四級航海)      5. 海技士コース (四級機関) 3. 海技士コース (五級航海)      6. 海技士コース (五級機関)	入寮希望の有無 <input checked="" type="radio"/> 入寮する <input type="radio"/> 通学する *学生寮閉鎖期間 (予定) G.Wおよび年末年始
住民票どおり記入ふりがなと郵便番号を忘れずに	氏名	海大太郎	生年月日 昭和 〇〇年〇〇月〇〇日 (満〇〇才)
	ふりがな	かいだい たろう	性別 <input checked="" type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女
	現住所	〒〇〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇市〇〇〇町〇〇-〇〇	本籍地 兵庫 都・道 府・県
	電話	( 〇〇〇 ) 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇	日中連絡先 携帯電話 ( 〇〇〇 ) 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇
	E-mail	abcdefghijklmn〇〇@gmail.com	連絡先の電話番号・メールアドレスを記入
願書が届き次第、教務課より案内を送付します	受験票送付先	〒 - 現住所と同じ	
卒業後、海技免許を取得できる学校に在籍した場合は船員教育欄へ記入	貴大学校 海技士コース ( 三級 航海 ) へ入学を希望します。		
	令和 〇 年 〇 月 〇 日		
現職を○で囲む	独立行政法人海技教育機構 海技大学校長 殿		
会社名等をこちらに記入	最終学歴	普通教育 〇〇中学校 卒業 (中退) 年月日 昭和 〇〇年 〇〇月 〇〇日 (卒業/中退) 船員教育 〇〇学校 卒業 (中退) 年月日 昭和 〇〇年 〇〇月 〇〇日 (卒業/中退)	〇で囲む
	海技大学校 船員通信教育	課程及び学籍番号	卒業 (中退) 年月日 昭和 〇〇年 〇〇月 〇〇日 卒業/中退
	履 歴	現職者記入欄 会社名 〇〇株式会社 職名 一等航海士 会社住所 〒〇〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇市〇〇〇町〇〇-〇〇 電話 ( 〇〇〇 ) 〇〇〇〇-〇〇〇〇	受講指示 運輸局名等 運輸局・支局 海事事務所・事務局
	離職者記入欄	(直前の)会社名	電話 ( ) -
所有免許及び免許をすべて記入	免状等種類      取得年月日      免状番号 海技免許①      四級海技士 (航海)      昭和 〇〇年 〇〇月 〇〇日      第 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 号 海技免許②      五級海技士 (機関)      昭和 〇〇年 〇〇月 〇〇日      第 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 号 小型船舶操縦免許証      一級小型船舶操縦士      昭和 〇〇年 〇〇月 〇〇日      第 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 号 無線従事者免許      第二級海上特殊無線技士      昭和 〇〇年 〇〇月 〇〇日      第 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 号		
該当する支払方法を○で囲み宛名を記載	乗船履歴を必ず裏面に記入すること		
	授業料等の支払い	<input checked="" type="radio"/> 会社払 <input type="radio"/> 個人払	*どちらかに必ず○をして、宛名の記載をしてください。
会社払いの場合のみすべて記入	請求書及び領収書の宛名	〇〇株式会社	
	担当部署及び担当者名	〇〇部〇〇〇〇課 〇〇〇〇	
	振込先等連絡先送付先	〒〇〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇市〇〇〇町〇〇-〇〇 〇〇〇ビル〇階	電話 ( ) - E-mail:

※本書類に記載された内容については、教育指導及び授業料等の納入並びにそれに付随する目的及び課程のお知らせ等の連絡に使用するものです。

## 2. 受講時に離職している場合

三級・五級入学試験で高等学校卒業者は、筆記試験の免除を願ひ出ることができます。卒業証明書又は卒業証書のコピーを添付してください。

確認印			記入しない
希望するコースを○で囲む	海技大学校 入学願書 (三級～五級用)		受験番号
	三級又は五級 入学試験筆記試験免除の願ひ出を <input checked="" type="radio"/> する <input type="radio"/> しない		
住民票どおり記入ふりがなを忘れずに記入	志望コース ① 海技士コース (三級航海) 4. 海技士コース (三級機関) 2. 海技士コース (四級航海) 5. 海技士コース (四級機関) 3. 海技士コース (五級航海) 6. 海技士コース (五級機関)	入寮希望の有無	*学生寮閉鎖期間 (予定) G.Wおよび年末年始 <input checked="" type="radio"/> 入寮する <input type="radio"/> 通学する
住民票どおり記入ふりがなと郵便番号を忘れずに記入	ふりがな かいだい たろう	性別 男 <input checked="" type="radio"/> 女 <input type="radio"/>	生年月日 昭和 平成 令和 △△年△△月△△日 (満△△才)
願書が届き次第、教務課より案内を送付します	氏名 海大太郎	本籍地 兵庫 都・道 府・県	連絡先の電話番号・メールアドレスを記入
卒業後、海技免状を取得できる学校に在籍した場合は船員教育欄へ記入	現住所 〒△△△-△△△△ 〇〇県〇〇市〇〇町△△-△△	電話 (△△△) △△△△ - △△△△	日中連絡先 携帯電話 (△△△) △△△△ - △△△△
離職を○で囲む	E-mail abcdefg-hijklmn△△@gmail.com	受験票送付先 〒 - 現住所と同じ	志望コースで囲んだコースを記入する
離職前の会社名等をこちらに記入	貴大学校 海技士コース (三級航海) へ入学を希望します。		
所有免状及び免許をすべて記入	令和 △年 △△月 △△日		
個人払を○で囲み宛名を記載	独立行政法人海技教育機構 海技大学校長 殿		
	最終学歴	学校名	卒業 (中退) 年月日
	普通教育	〇〇中学校	昭和 平成 令和 △△年 △△月 △△日 卒業 中退
	船員教育	〇〇学校	昭和 平成 令和 △△年 △△月 △△日 卒業 中退
	海技大学校 船員通信教育	課程及び学籍番号	卒業 (中退) 年月日 昭和 平成 令和 年 月 日 卒業 中退
	現職	離職 (受講時の状態を○で囲んでください)	受講指示 運輸局名等
	会社名	職名	〇〇 運輸局・支局 海事事務所・事務局
	会社住所	電話 ( ) -	
	離職者 (直前の) 会社名	電話 (△△△) △△△-△△△△	
	免状等種類	取得年月日	免状番号
	海技免状①	四級海技士 (航海) 昭和 平成 令和 △△年 △△月 △△日	第 △△△△△△△△△△△△△△ 号
	海技免状②	五級海技士 (機関) 昭和 平成 令和 △△年 △△月 △△日	第 △△△△△△△△△△△△△△ 号
	小型船舶操縦免許証	一級小型船舶操縦士 昭和 平成 令和 △△年 △△月 △△日	第 △△△△△△△△△△△△△△ 号
	無線従事者免許	第二級海上特殊無線技士 昭和 平成 令和 △△年 △△月 △△日	第 △△△△△△△△△△△△△△ 号
	乗船履歴を必ず裏面に記入すること		
	授業料等の支払い	会社払 <input type="radio"/> 個人払 <input checked="" type="radio"/>	※どちらかに必ず○をして、宛名の記載をしてください。
	請求書及び領収書の宛名	海大 太郎	
	担当部署及び担当者名		
	振込先等連絡先送付先	電話 ( ) -	E-mail:

※本書類に記載された内容については、教育指導及び授業料等の納入並びにそれに付随する目的及び課程のお知らせ等の連絡に使用するものです。

VIII. 入学願書 記入例（裏面）

乗船履歴については、船員手帳その他を入念に調べて記入してください。  
もし、乗船履歴の不足が判明したときは、入学が取り消されます。

船員手帳の有無を記入

船舶の用途・名称を記入

乗船履歴 (船員手帳の有無 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無)								
※最近の履歴を一番上に書き、日付順に過去15年以内の履歴を記入してください。 乗船中の場合、下船又は終業の年月日は記入日現在で結構です。 ※5年前以内の乗船履歴が含まれていない場合は、事前にご連絡ください。 ※船員手帳等で確認し、記入してください。入学の際は、必ず雇い止めを行って来ること。								
船舶の用途 船舶の名称	総トン数	機関の種類 及び出力	航行区域 従業制限	船主氏名 又は名称	職名	乗船又は就業の 年月日	下船又は終業の 年月日	乗船又は就業の 期間
油送船 海大丸	500 トン	ディーゼル 1500 kW	近海	海大運輸(株)	船長	2023年 3月 25日	2023年 10月 20日	年 6月 26日
芦屋丸	400 トン	ディーゼル 800 kW	沿岸	海大運輸(株)	一等航海士	2022年 10月 4日	2023年 2月 23日	年 4月 20日
海大丸	500 トン	ディーゼル 1500 kW	近海	海大運輸(株)	一等航海士	2022年 7月 13日	2022年 9月 7日	年 1月 26日
芦屋丸	400 トン	ディーゼル 800 kW	沿岸	海大運輸(株)	一等航海士	2021年 8月 20日	2021年 6月 15日	年 9月 27日
海大丸	500 トン	ディーゼル 1500 kW	近海	海大運輸(株)	一等航海士	2017年 11月 13日	2018年 7月 27日	年 8月 15日
芦屋丸	400 トン	ディーゼル 800 kW	沿岸	海大運輸(株)	一等航海士	2016年 8月 26日	2017年 11月 5日	年 2月 11日
海大丸	500 トン	ディーゼル 1500 kW	近海	海大運輸(株)	二等航海士	2015年 11月 6日	2016年 8月 19日	年 9月 14日
丸	トン	kW				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	kW				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	kW				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	kW				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	kW				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	kW				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	kW				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	kW				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	kW				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	kW				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	kW				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	kW				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	kW				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	kW				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	kW				年 月 日	年 月 日	年 月 日
丸	トン	kW				年 月 日	年 月 日	年 月 日
合 計								4年 7月 19日

航海に入学希望の方は、航海士、甲板員等の履歴を記入

機関に入学希望の方は、機関士、機関員等の履歴を記入

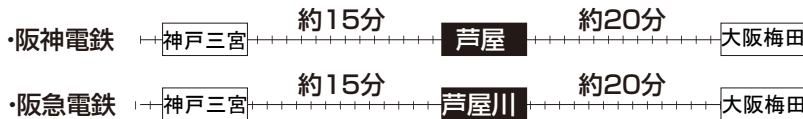
30日を1月として計算

# アクセス

## ●JR



## ●私鉄(阪神・阪急電鉄)

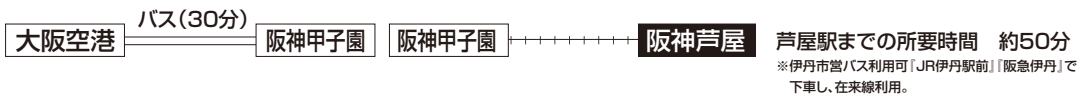


## ●空港

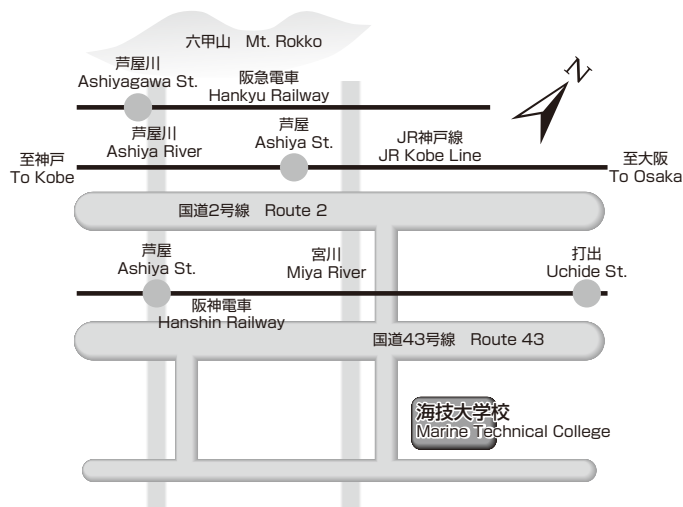
### ・関西空港



### ・大阪(伊丹)空港



### ・神戸空港



独立行政法人海技教育機構 海技大学校

〒659-0026 兵庫県芦屋市西藏町12番24号

TEL:0797-38-6211

HP: <https://www.jmets.ac.jp/kaidai/>



海大HP